

平成 31 年度事業計画

I 事業方針

当センターは、設立以来、地域社会において実践活動を行いセンターのサポーターである賛助会員を有する、全国唯一の「明るい長寿社会づくり推進機構」として、県内高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を推進し、健康長寿県づくりの一翼を担ってきました。

人生 100 年時代を迎えた現在、シニア世代の生き方や価値観は多様化しており、急激な超高齢社会の進行、人口減少化の中で、地域社会では高齢者自らが地域の一員としての役割を担い、共に活動することが期待されるなど、高齢者を取り巻く環境や社会的ニーズが設立当時と大きく変わってきています。

そこで、シニア世代が培ってきた知識や経験を活かし、社会参加活動をすることができる「人生二毛作社会」の実現を目指し、シニア活動推進コーディネーターを配置するなど、全ての高齢者が活躍できる場づくりを積極的に進めています。

平成 31 年度事業計画、予算の策定に当たっては、県が掲げる「人生二毛作・生涯現役」社会づくりの理念と協調した事業の展開を図るとともに、次の事項に意を用い、的確かつ迅速な執行に努めます。

□ 「人生 100 年時代」を見据えた県民の意識づくりを進めます

情報誌、ホームページを活用した情報発信、タウンミーティングの開催等により、シニア世代が社会参加活動を行うことができる人生二毛作社会づくりを推進し、県民の意識づくりを進めます。

□ 高齢者の活動の場づくりを促進する仕組みを構築し、「居場所と出番がある長寿社会」の実現を目指します

シニア活動推進コーディネーターを引き続き全支部に配置することにより、関係機関に連携・協働を仕掛ける体制を強化し、全ての高齢者に「居場所」と「出番」がある長寿社会づくりを進めます。

□ 高齢者の社会参加意欲の醸成と社会参加活動への支援を行います

シニア大学の「一般コース」は、各学部のカリキュラムの充実、効果的な PR や賛助会との連携等を推進し、地域社会の一員としての自覚を持ち社会と関わる人材養成を目指します。「専門コース」は、本年度から県の財政支援を受け引き続き長野学部に設置し、様々な地域課題に向き合い解決するスキルを持った、プロデューサー的な人材を養成します。

また、「いきいき中高年社会貢献活動支援事業」により、中高年者が経験や知識を生かして地域社会に貢献しようとする活動を積極的に支援します。

□ 高齢者の仲間づくり及び健康で活躍できる社会づくりを進めます

信州ねんりんピックの開催をはじめとし、県民参加の場を提供することにより、高齢者の生きがいや仲間づくり、健康で活躍できる社会づくりを推進します。

□ 地区賛助会への協力・支援を行うとともに、賛助会員の加入促進と活動支援を進めます

賛助会員グループ立上げ給付金事業や地区賛助会への助言、交付金による運営の支援や賛助会員グループへの活動費助成などにより、会員の活動支援を行います。

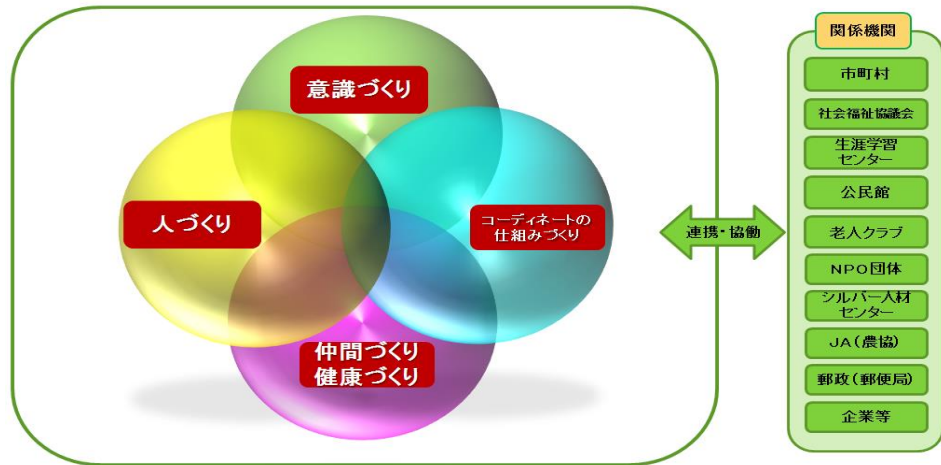
また、シニア大学生への PR、企業訪問等により賛助会員の加入促進に努めます。

□ 財団運営の一層の健全化に努めます

基本財産運用収入や賛助会費、広告料収入等自主財源の確保に努めるとともに、既存事業内容の点検、効果的で迅速な事業執行により、財団運営の一層の健全化を目指します。

Ⅱ 事業体系

(公) : 公益目的事業
(共) : 共益事業



意識づくり

- 情報提供事業
 - ・ (公) 情報誌発行事業
 - ・ (公) 広報事業
- 啓発普及事業
 - ・ (共) 広報啓発事業
 - ・ (共) ホームページ運営事業
 - ・ (共) 表彰事業
- 活動推進事業
 - ・ (公) センター支部活動事業
 - ・ (公) いきいき中高年社会貢献活動支援事業
 - ・ (公) 高齢者地域活動会議運営事業

人づくり

- 人材育成事業
 - ・ (公) 長野県シニア大学運営事業

仲間づくり・健康づくり

- 推進事業
 - ・ (公) 信州ねんりんピック開催事業
 - ・ (公) 全国健康福祉祭選手派遣事業
- 活動推進事業
 - ・ (共) 賛助会員募集・活動推進事業
 - ・ (共) 地区賛助会運営費交付事業
 - ・ (共) 地区賛助会連絡協議会運営事業
 - ・ (共) 賛助会員グループ活動支援事業
 - ・ (共) 賛助会員グループ立上げ給付金事業

コーディネートの仕組みづくり

- 活動推進事業
 - ・ (公) 高齢者社会参加促進事業

誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現

Ⅲ 実施事業

1 意識づくり

(1) 情報提供事業

① 情報誌発行事業（予算額 6,091千円）

情報誌「信州りらく」は、人生二毛作社会に向けた意識啓発に重点を置き、地域で積極的な社会活動を行っている人物、グループの紹介等を情報発信し、生きがい・健康づくりや社会参加に対する意識の高揚を図ります。

また、「情報誌企画・編集委員会」の開催等により、情報誌の内容充実に努めるとともに、有償購読者の増加を図ります。

- ▶ 発行回数 年4回（4月、7月、10月、1月）
- ▶ 発行部数 4,700部
- ▶ 配布先 市町村、図書館、公民館、公的病院、賛助会員 等
- ▶ 支部通信員の設置（30人）

地域で活躍する高齢者の情報を収集するため、支部通信員（活動サポーター）を設置し、地域の声を反映させます。

② 広報事業（予算額 200千円）

報道機関等への情報提供やセンターパンフレット、人生二毛作実践事例集の配布、メールマガジンの配信等により、社会参加活動に係る情報発信に努めます。

(2) 啓発普及事業

① 広報啓発事業（予算額 173千円）

賛助会員加入案内パンフレットを作成し、県民やシニア大学生、企業・団体等への働きかけにより、賛助会員の加入促進を図ります。

② ホームページ運営事業（予算額 50千円）

ホームページにおいて、センターの事業実施状況や募集案内、支部・地区賛助会の活動状況等をタイムリーに掲載し、「人生二毛作社会」の推進に有効な取組等が、多くの方に届くよう情報提供に努め、豊かで活力ある長寿社会づくりの大切さと呼びかけます。

③ 表彰事業（予算額 100千円）

賛助会員として、社会参加活動の推進等に功績のあった個人及び団体に対し、表彰状又は感謝状を贈呈し、センターが推進する生きがいと健康づくり活動、社会参加活動等の賛助会員活動を推進します。

(3) 活動推進事業

① センター支部活動事業（予算額 1,650千円）

明るく豊かな長寿社会づくりを推進することを目的として、センター支部の自主的な活動を促進するため、次のとおり実施します。

ア 一般事業

管内の高齢者を対象に生きがい・健康づくりや社会参加につながる事業を実施します。

- ▶ 1事業当り5万円以内

イ 信州ねんりんピック文化・芸術交流大会参加促進事業

「人生二毛作・生涯現役社会づくり」への理解を促進するために、シニアの信州ねんりんピック文化・芸術交流大会への参加を促すことを目的に実施します。

- ▶ 1支部当り5万円以内（開催地の支部を除く。）

ウ 人生二毛作社会推進事業

市町村、社会福祉協議会等関係団体との連携・協働により、高齢者の社会参加に対する意識の向上を図るために、県民参加のタウンミーティングを開催します。

- ▶ 1支部当たり7万円程度

② いきいき中高年社会貢献活動支援事業（予算額 1,875千円）

中高年者が経験や知識を生かして地域づくり、社会貢献活動をしようとする事業に対して助成し、地域社会への関わりを深め、明るい長寿社会の形成を促進します。

- ▶ 助成額 助成対象事業費の2/3以内で、1年目は15万円、2年目は10万円、3年目は5万円を限度とします。

③ 高齢者地域活動会議運営事業（予算額 300千円）

センター各支部の主催により、市町村、市町村社会福祉協議会、ハローワーク、シルバー人材センター等の関係機関が参加し、情報交換等を行う「ネットワーク会議」の開催を通じ、人生二毛作社会の実現を目指します。

2 人づくり

人材育成事業

長野県シニア大学運営事業（予算額 21,838千円）

(1) 一般コース

＜生きがいづくり・仲間づくり・社会参加のきっかけづくりを目指します＞

シニア大学運営委員会から提言を受けた、カリキュラムの充実、効果的な PR や賛助会との連携等を推進し、シニア世代の多様な生き方、価値観、地域性を大切にしながら、自ら地域の課題に気づき、学習を通して社会参加活動のきっかけをつかみ、卒業後、地域社会の一員としての自覚をもって地域と関わる人材を育みます。

- ▶ 定員 2, 400 人（1 学年 1, 200 人、2 学年 1, 200 人）
- ▶ 学習期間及び時間数 2 年 年 60 時間（4 時間×15 日）
- ▶ 授業料 1 人年額 10, 000 円
- ▶ 入学資格 概ね 50 歳以上の県内在住者で、学習意欲が旺盛であり、地域活動等を行おうとする者。

(2) 専門コース（地域プロデュース専門コース）

＜地域課題を的確に捉え、それを解決する専門的なスキルを持ったリーダーや、プロデューサー的な人材の養成を目指します＞

設置から 2 年が経過した専門コースは、本年度から県の財政支援を受け引き続き長野学部にもモデルとして開設します。様々な地域課題に向き合って解決する“発想する力、連携・協働する力、合意形成力、コーディネート力”などのスキルを持ったプロデューサー的な人材を養成するとともに、卒業生はセンターの「シニア地域プロデューサー」として登録し、高齢者の社会参加活動を推進します。

- ▶ 定員 30 人
- ▶ 学習テーマ
 - ・ ライフデザイン（充実した人生設計等により創造的な生き方を目指す）
 - ・ コミュニティデザイン（住民が主体的に活動する地域の形成を目指す）
 - ・ ビジネスデザイン（地域課題解決のために社会的起業を目指す）
- ▶ 学習期間及び時間数 1 年間 年 35 時間
- ▶ 授業料 1 人年間 26, 000 円
- ▶ 入学資格 概ね 50 歳以上の県内在住者で、地域課題を的確に捉え、それを解決する専門的なスキルを身に付けようとする者。

(3) シニア大学運営委員会

一般コースにおける各学部のカリキュラムの企画・編成・指導や専門コースの運営等について助言・提言を行います。

(4) 社会活動推進員研修

シニア大学の企画運営や地区賛助会への助言・指導等を担う社会活動推進員の資質向上のため「外部研修」「参加体験研修」等を実施します。

(5) 学校案内の作成

シニア大学の目的や趣旨、学習内容等を広くPRするため学校案内を作成、配布します。

3 仲間づくり・健康づくり

(1) 推進事業

① 信州ねりんピック開催事業（予算額 5,196千円）

長寿社会に対する理解を深め、高齢者の生きがい・健康づくりや社会参加を推進する契機とするため、高齢者を中心とする多くの県民が参加する文化・芸術・スポーツの祭典を開催します。

ア 文化・芸術交流大会

(7) 式典、交流イベント、ステージ発表等

- ▶ 開催期日 2019年9月21日（土）
- ▶ 会場 飯山市文化交流館なちゅら

(イ) 高齢者作品展

- ▶ 開催期日 2019年9月20日（金）～22日（日）
- ▶ 会場 飯山市公民館
- ▶ 内容 日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真の作品展示

(ウ) 囲碁・将棋大会

- ▶ 開催期日 2019年9月21日（土）
- ▶ 会場 飯山市公民館

イ スポーツ交流大会

- ▶ 開催期日 2019年10月26日（土）
- ▶ 会場 長野市長野運動公園総合運動場、犀川第二運動場マレットゴルフ場
- ▶ 内容 ダンススポーツ、グラウンド・ゴルフ等 10 種目

② 全国健康福祉祭選手派遣事業（予算額 5,307千円）

高齢者の生きがいと健康づくりを目指す、第32回全国健康福祉祭和歌山大会「ねりんピック紀の国わかやま2019」へ選手を派遣します。

- ▶ 開催期日 2019年11月9日（土）～12日（火）
- ▶ 開催場所 和歌山県
- ▶ 選手団派遣予定種目数・人員 21種目・約150人

(2) 活動推進事業

① 賛助会員募集・活動推進事業（予算額 1,112千円）

賛助会員の加入促進のため引き続き入会金を免除する等、賛助会員の増加に向けた取組を進めます。

また、「活動サポーター」と連携し、賛助会員活動の啓発や加入促進を積極的に進めるとともに、サポーターの資質向上及び情報交換のための研修会を開催します。

ア 会員の加入促進

- ▶ 地区賛助会等と連携し、シニア大生への勧誘を更に進めるとともに、「会員ご紹介キャンペーン」の実施、企業訪問による法人会員勧誘等、会員の加入促進に向けた取り組みを強化します。
- ▶ 会員特典（情報誌配布、割引協力店での割引サービス、グループ立上げ資金の給付、グループ活動経費の助成、センター事業への優先的参加、社会活動推進員・コーディネーターのサポート、法人会員のセンターホームページでの紹介・リンク、情報誌掲載、シニア大学の優先活用等）を実施し、PRします。

イ 活動サポーター研修

活動サポーターの資質向上、会員募集の強化等を推進するために研修会を実施します。

ウ 割引協力店の充実

賛助会員が特典として利用できる、割引協力店の充実・拡大を図ります。

② 地区賛助会運営費交付事業（予算額 1,883千円）

地区賛助会の活動運営を行うために必要な経費を交付し、自主的な活動を推進します。

③ 地区賛助会連絡協議会運営事業（予算額 186千円）

賛助会員代表（20人）と支部事務局長（10人）により構成される連絡協議会で社会参加活動の推進策等について協議・意見交換を行うとともに、地区賛助会活動の連絡調整を図ります。

④ 賛助会員グループ活動支援事業（予算額 2,545千円）

賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部をグループに助成します。

▶ 助成額

賛助会員A会員数1人当たり1,000円（1会員1グループに限る）

社会貢献活動加算：賛助会員A会員数1人当たり300円（社会貢献活動を年間5回以上行うグループ）

⑤ 賛助会員グループ立上げ給付金事業（予算額 250千円）

グループ長の協力を得て、賛助会員グループの年会費の一括納入を進めることにより、賛助会員が新規のグループを設立する際に給付金を給付し、高齢者の自主的な社会参加活動を推進します。

▶ 助成額 1グループにつき1万円

4 コーディネートの仕組みづくり

活動推進事業

高齢者社会参加促進事業（予算額 46,376千円）

高齢者の社会参加のニーズと地域社会の高齢者に対するニーズに関する情報を一元的に提供する「シニア活動推進コーディネーター」を引き続き全支部に配置し、11名体制とします。これにより、情報の収集・提供や情報交換会（ネットワーク会議）の開催等を通じて、市町村、市町村社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係機関に連携・協働を仕掛ける体制を強化し、「人生二毛作プラットフォーム」をつくりながら、全ての高齢者の社会参加を支援します。

5 財団運営

理事会、評議員会、地区賛助会連絡協議会など、財団運営に必要な会議を開催し、適正な財団運営を行います。

▶ 理事会	5月、3月
▶ 評議員会	6月、3月
▶ 地区賛助会連絡協議会	6月、12月
▶ 支部事務局次長等会議	4月、12月